

科目	国語 (Japanese Language and Literature)		
担当教員	高崎 真理子		
対象学年等	都市工学科・4年・後期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B1(100%)	JABEE基準1(1) (d)2-b,(f)
授業の概要と方針	実践的な日本語能力の養成を目的として編集されたテキストを中心に、記述・発表・討論等において正確に表現できる日本語によるコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B1】日常生活やビジネスの場における正しい言葉遣いを習得する。		正しい言葉遣いについて理解できているか中間試験と定期試験で評価する。
2	【B1】正しい敬語の使い方を習得する。		正しい敬語の使い方を理解できているか中間試験と定期試験で評価する。
3	【B1】理論的な文章における客観視とは何かを理解する。		客観的な「事実」と自分の「意見」について理解できているか中間試験と定期試験で評価する。
4	【B1】理論的な文章の基本を習得する。		文体が統一された理論的な文章が書けるか中間試験と定期試験で評価する。
5	【B1】基本的なビジネス文書の書き方を習得する。		ビジネス文書の書き方を理解できたか中間試験と定期試験で評価する。
6	【B1】手紙を書く技術の基本を習得する。		手紙の書き方を理解できたか中間試験と定期試験で評価する。
7	【B1】小論文の書き方の基本を習得する。		小論文を提出させ、型を守って理論的に書かれているか評価する。
8	【B1】正確な文章表現の基本を習得する。		小テーマを与えて文章を提出させ、正確で分かりやすい文章が書かれているか評価する。
9			
10			
総合評価	到達目標1, 2, 3, 4, 5, 6の中間試験と定期試験70%, 到達目標7, 8の提出物30%で評価する。		
テキスト	「プラクティカル日本語」：清水明美・岩沢正子・加藤清・武田明子・福沢健編（おうふう）		
参考書	「理科系の作文技術」：木下是雄（中央公論新社） 「『分かりやすい表現』の技術」：藤沢晃治（講談社）		
関連科目			
履修上の注意事項	・関連科目：第3学年「国語」。習得した国語の基礎的・基本的な理解力・読解力に基づき、社会人として習得しておくべき実践的な国語コミュニケーション能力の学習へとつながる。		

